

養父市 定例記者会見

日時:平成28年10月7日(金)10:00～
場所:養父市役所3階 第2委員会室

1 発表事項

資料番号	発表事項	発表者
1	おだきさん家の八鹿豚ぼん酢の発売について	商工観光課 沖田主幹
2	「赤米献上の旅」の実施について	社会教育課 谷本次長
3	「第1回やぶ星空フォトグランプリ」入賞者の決定について	大屋地域局 杉本局長

2 資料配布

資料番号	内容	配布元
4	仙櫻蔵開き式および利き酒会の一般参加者募集について	商工観光課
5	須留ヶ峰紅葉登山大会について	人権・協働課
6	養父のネッテイ相撲について	情報課
7	八鹿町九鹿ざんざか踊りにについて	情報課
8	第51回やぶ文化祭の開催について	養父公民館

養父市記者発表資料（発表）

			資料番号	1
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月7日（金）	産業環境部 商工観光課	079-664-0289	商工観光課長 柳川 武 （商工観光課 主幹 沖田隆典）	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

～おだぎさん家の八鹿豚・日の出通商(株)食品カンパニー共同開発～ おだぎさん家の八鹿豚ぼん酢の発売について

この度、八鹿豚の生産農家、小田垣さんと地域密着型の事業を進める、日の出通商(株)食品カンパニー但馬醸造所が、共同開発により新たな商品を完成させ、発売することになりましたので発表します。

1 商品名及び内容

「おだぎさん家の八鹿豚ぼん酢」360ml 800円（税込み）

但馬のゆず果汁を20%使用して、柑橘のさわやかな味わいとかつおと昆布のうまみを効かせた贅沢な逸品です。

- ラベル揮毫 前田 華汀 氏
- 製造者 日の出通商（株）食品カンパニー但馬醸造所

【八鹿豚】

養父市八鹿町三谷の山奥、緑豊かな自然に囲まれ比較的冷涼な気候と騒音が無い静かな豚舎ですくすくと育った豚。ストレスを減らすために1か所あたりの飼育頭数を減らすとともに、きれい好きの豚の為に頻りに清掃と消毒をしたり、夏場は換気やシャワーミストで豚の体温上昇をコントロールしたりして手塩にかけて飼育しています。

餌も品質の良いものを与え、健康にのびのびと飼育しているため、脂が甘くて香ばしく、とても柔らかい肉質です。冷めても柔らかく、うま味が逃げないのが特徴です。

2 販売（10月29日（土）から下記の店舗で販売）

スーパーナカケー（4店舗）、但馬高原植物園センターハウス、カフェレストラン「ベリッタ」、やぶらぶウォーカー

3 問い合わせ先

八鹿畜産 養豚部 小田垣 縁（電話079-660-1306）

養父市記者発表資料（発表）

資料番号

2

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月7日（金）	養父市教育委員会 養父市立八鹿小学校	079-664-1628 079-662-2185	社会教育課長 谷本 進 八鹿小学校長 政次 敏博
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「赤米献上の旅」の実施について

1 事業目的

- (1) 赤米の献上体験を通して、先人の知恵や技術、郷土の歴史や文化に対する感動と共感の心を育む。
- (2) 赤米の献上体験を通して、学校・家庭・地域の連携を深める。

2 テーマ 「赤米献上の旅を通して、八鹿の歴史を探ろう」

3 組織

委員長	政次敏博（八鹿小学校校長）
副委員長	谷口義昭（小佐地区自治協議会会長）
〃	濱田忠司（八鹿地区自治協議会事務局）
〃	山下義晴（小佐地区区長会会長）
〃	小田垣義和（八鹿小学校同窓会会長）
〃	西木紀夫（八鹿小学校後援会会長）
〃	田村 充（八鹿小学校PTA会長）
事務局	池田哲郎（八鹿小学校教頭）

4 事業内容

- (1) 日時 平成28年10月21日（金）午前7時～午後6時40分
- (2) 行き先 奈良文化財研究所、同平城宮跡資料館（奈良市佐紀町247-1）
奈良東大寺（奈良市雑司町406-1）
- (3) 参加者 6年生（49名）、学校教職員校長以下4名、PTA役員、同窓会役員、八鹿自治協議会役員、小佐自治協議会役員、民生委員
- (4) 実施内容
 - ア 赤米を奈良文化財研究所職員に手渡し、献上体験学習とする。
 - イ 奈良東大寺を見学し、歴史学習を行う。

(5) 日 程

- 7:00 養父市役所駐車場集合
- 7:10 出発式
- ・学校長あいさつ
 - ・教育長あいさつ
 - ・児童代表あいさつ
- 7:30 八鹿出発
- 10:30 奈良平城京跡（奈良文化財研究所）到着
- 11:00 赤米贈呈式
- ・学校長あいさつ
 - ・児童代表あいさつ
 - ・赤米贈呈
 - ・文化財研究所職員あいさつ
- 11:30 昼食
- 12:00 文化財研究所資料館見学
- 12:45 奈良平城京跡見学
- 13:30 移動
- 13:50 奈良公園（東大寺、二月堂・三月堂）見学
- ※ボランティアガイドの案内による
- 15:50 奈良公園出発
- 18:50 養父市役所駐車場到着
- 解散式
- ・学校長あいさつ
 - ・児童代表あいさつ
- 19:00 解散

5 交通手段

大型バス1台（児童・職員）、マイクロバス1台（地域）

6 問い合わせ先

養父市立八鹿小学校

〒667-0021 養父市八鹿町八鹿 1045-4 電話 079-662-2185

平成28年10月7日

赤米の献上体験学習について

【趣 旨】

本校区内の小佐地域では、昭和38年に平城京跡の発掘調査の際、「小佐から赤米5斗を奈良の都に献上した」という木簡が発見されたことに端を発し、平城京への赤米献上を再現してみたいという気運が高まった。地域の有志が赤米の種籾を手に入れ、昭和55年から赤米の栽培が始まった。旧小佐小学校でも、当時、県教育委員会が提唱する「土曜ふれあい学級」の一環として取り組むこととなり、学校・家庭・地域を挙げた取組として次第に根付いていった。そして、平成2年から奈良国立文化財研究所へ赤米を献上体験する事業を行い、同10年まで続いた。この間、赤米の献上体験を修学旅行の日程に組み込んで実施した時期もあった。

平成11年から同22年までは、奈良・平城京跡で開催される平城遷都祭（平成22年は平城遷都1300年祭）に参加するなど、学校・家庭・地域が一体となって赤米の献上体験が行われてきた。小佐小学校が閉校する平成23年度には奈良には行かず、平城京遷都1300年祭実行委員に来校してもらい記念式典を行っている。

以上、赤米の献上体験事業は、古代のロマンに迫る中で郷土の歴史を知り、未来を創造する力を生み出す取組として毎年引き継がれ発展してきた。

平成24年4月1日、八鹿小学校と小佐小学校が統合した。それに伴い、この年はそれまで旧小佐小学校で取り組んでいた赤米づくりは実施せず、学校の中庭において、バケツを活用して赤米の栽培を行った。

その後、小佐地域の方より「八鹿小学校でも、赤米づくりをしてほしい」という願いが出された。学校はこの願いを受け検討した結果、3年生の環境体験学習として翌年より実施することとした。実施に当たっては、小佐地区自治協議会の全面的な支援のもと、旧小佐小学校が行っていたときと同じ今井地区の水田において、田植えと稲刈りをさせていただくこととした。

平成25年5月23日、統合後初めての田植えが行われた。水田の周りには赤、黄、緑など色とりどりの幟が飾られ、大勢の地域の方が子どもたちを待っていてくださった。子どもたちは田に素足で入り、泥の感触を楽しみながら、地域の方の手ほどきを受けて一苗ずつ丁寧に植えていった。終了後、「小佐ごはんの会」の方が赤米のぜんざいを振る舞ってくださり、みんなで美味しくいただいた。小佐の方の「ようこそ、小佐に来てくださった」という言葉が印象的であった。秋の稲刈りも同様の支援を受けて実施することができた。また、3学期には小佐地区自治協議会の方が、3年の社会科「むかしのくらし」の学習と関連させて、収穫後のわらを使って草履を編む貴重な体験をすることができた。

これらの行事は昨年、今年度も引き続き実施している。加えて、昨年12月には3年生が、地域の方へ感謝の気持ちを届ける「赤米感謝祭」を旧小佐小学校において行った。

今年度は、3年生の保護者が、PTA親子行事として旧小佐小学校において赤米の餅つきを行うよう準備を進めている。

以上が、赤米づくりの今日に至る経過である。

今後は、これまで行ってきた田植え・稲刈り・感謝祭・わら細工等赤米づくりの一連の体験活動を締めくくる活動として、今後、赤米を「奈良の都」に献上する体験を行わせたい。

赤米の歴史を紐解くことは、郷土の歴史を日本全体の歴史の中で捉えることである。そこで、赤米づくりを体験しており、現在、歴史学習を行っている6年生に奈良へ行かせたい。6年生は校区で収穫された赤米を古の都「平城京」へ献上体験することで、ふるさと八鹿の歴史を広い視野の中で捉え、八鹿を見直し、郷土への愛着や誇りを一層強く持つようになるであろう。こういった取組は、生きた歴史学習になるものと確信している。また、この取組は地域の願いに応え、地域との信頼関係を一層強くするよい機会である。この取組は八鹿小学校の特色ある取組として、小佐地域のみならず八鹿小校区全体から支援していただけるものとする。地域の教育力を活かし、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を図っていくチャンスとして、この取組を推進していきたい。

以上の取組を通して、“ふるさと八鹿”を担い、未来を確かに生きていこうとする人材育成の礎を築いていきたい。

養父市記者発表資料（発表）

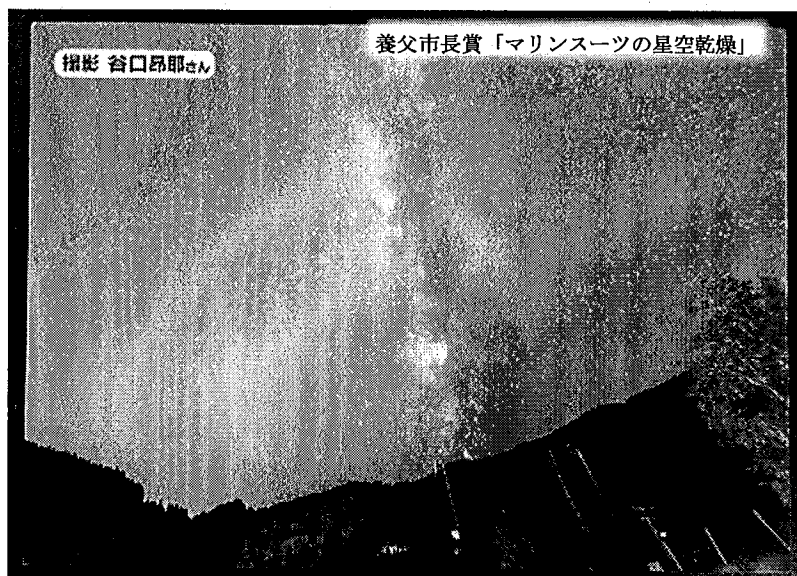
養父市記者発表資料（発表）			資料番号	3
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月7日（金）	市民生活部 大屋地域局	079-669-0120	大屋地域局長 杉本彰洋 若杉高原開発企業組合 小林知誉	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

『第1回やぶ星空フォトグランプリ』入賞者の決定について

兵庫県養父市（八鹿町）は平成16年に実施された環境省主催の全国星空継続観察〔スターウォッチング〕において、「星が最も輝いて見える場所」全国第1位に輝いた日本でも有数の星空スポットです。

若杉高原開発企業組合では、養父市の星空をPRするために「第1回やぶ星空フォトグランプリ」を実施し、下記のとおり入賞者が決定しました。

- 1) 募集内容 別紙、募集要項のとおり
- 2) 応募者数 16作品（11名） 市内2名、県内7名、県外2名（大阪、京都）
- 3) 審査員
 - ・養父市長
 - ・星空ハイキング実行委員会（八鹿ぼしを見つけようかい、若杉高原開発企業組合）
- 4) 入賞者 ①養父市長賞 「マリンスーツの星空乾燥」 撮影：谷口昂耶さん
(大阪府豊能郡)



広瀬市長の講評

「中央をなす、躍動感溢れる銀河。そのすぐ近くに人の営みが映し出され、星の降る町おおやがよく表現されている。」

養父市長賞に輝いた谷口さんには賞金1万円と若杉高原温泉年間パスが贈られます。

- ②優秀賞 「町灯りに浮かぶ天の川」 撮影：竹下重一（養父市）
「鉢伏山を巡る星々」 撮影：鳥羽聖朋（宝塚市）
③がんばったで賞 「どこにもない一つの夜空」 撮影：山名巧（加古川市）

5) 主催 若杉高原開発企業組合

6) その他 入賞以外のどの作品もレベルが高く、素晴らしい作品が集まりました。組合では第2回以降の開催も予定しており、次回は来年の開催の予定です。

■若杉高原おおやスキー場では養父市の星空を気軽に楽しんでもらえるイベント「星空ハイキング」を実施しており、今年で5年目になりました。

今季は営業期間を拡大した結果、3,000名以上（前年比150%増）のお客様にご参加いただいています。（「星空ハイキング」の営業期間は11月5日まで）

7) 問い合わせ先

「やぶ星空フォトグランプリ係」（担当：小林）

〒667-0323 兵庫県養父市大屋町若杉 99-2

TEL：079-669-1576

Email: info@ooya-ski.jp

※受賞作品のスキャンデータが必要な場合は発表者（小林）までご連絡ください。

第1回



やぶ星空 フォトグランプリ

環境省認定

「星が最も輝いて見える場所」

第1位

※兵庫県養父市八鹿町は、環境省が実施している全国星空継続観察で、平成16年度「星が最も輝いて見える場所」の第1位に認定されました。[夜空の明るさ(等級23.5)]

<養父市内 若杉高原おおやキャンプ場にて撮影 H27.9>



募集テーマ 「星景写真」 「星空×子供」

養父市内で撮影された、テーマに沿った星空の写真を集めます。兵庫県養父市(やぶし)は平成16年度に環境省認定「星が最も輝いて見える場所」1位になりました。養父ならではの星空の美しさ、楽しさが表現されている、とっておきの1枚をお待ちしています。

応募期間

平成28年7月1日～
平成28年8月31日

(消印有効)

入賞作品

養父市長賞 1点

優秀賞 2点

賞金5千円
+温泉年間パス

入選 数点

入賞者特典
+温泉年間パス

賞金1万円

若杉高原温泉
年間パス券

入選者の作品はHPや
場内にて展示予定♪

主催

若杉高原開発企業組合
若杉高原おおやスキー場・キャンプ場
〒667-0323
兵庫県養父市大屋町若杉99-2
TEL (079)669-1576
FAX (079)669-1591

後援

養父市

若杉高原
おおやキャンプ場



応募先・応募方法の詳細は裏面へ▶▶▶

第1回 やぶ星空フォトグランプリ 募集要項

募集テーマ

- ・「星景写真」 「星空×子供」

養父市内で撮影された、上記テーマに沿った星空の写真を集めます。兵庫県養父市(やぶし)は平成16年度に環境省認定「星が最も輝いて見える場所」1位になりました。養父ならではの星空の美しさ、楽しさが表現されている、とっておきの一枚をおまちしております。

応募資格

国籍・年齢・経験(プロ、アマチュア)は問いません。個人またはグループでも応募可能。

応募方法

次のどちらからでも応募できます(お1人3枚まで)

●写真プリントで応募

プリントサイズは六つ切り203×254mmかA4サイズが基本となりますが、作品の意図に応じてサイズを変えてプリントしていただいても構いません。

●電子データで応募[電子メール]

- ・応募票をホームページからダウンロードし、必要事項を明記の上、応募作品と併せて送付してください。
- ・jpeg形式で1枚あたり5MB以下

審査委員

養父市市長・星空ハイキング実行委員会

賞品

- | | | |
|-------|----|-------------------|
| 養父市長賞 | 1点 | 賞金1万円
若杉温泉年間パス |
| 優秀賞 | 2点 | 賞金5千円
若杉温泉年間パス |
| 入選 | 数点 | 粗品進呈 |

入賞発表

平成28年9月中旬～下旬に審査委員会で選考し、10月上旬までに入賞者に直接通知します。

応募締切

平成28年8月31日(水)

※郵送の場合は消印有効、メールの場合は当日必着

参加費

無料ですが作品を応募先へ送付していただく費用は参加者様の負担となります。

応募先・問い合わせ先

「やぶ星空フォトグランプリ係」

〒667-0323兵庫県養父市大屋町若杉99-2

TEL: 079-669-1576

Email: info@ooya-ski.jp

応募規約

- ・応募作品は平成28年4月1日以降に撮影された作品とします。
- ・応募作品の著作権は応募者本人に帰属します。主催者は応募作品を無償で使用する権利を有します。
- ・応募作品は他のコンテストに出品予定、または出品中でないものにかぎりません。
- ・応募作品の返却はできません。
- ・応募後の辞退はできません。
- ・応募作品は未発表のもので、養父市内で撮影されたものを対象とします。
- ・当コンテストで得た個人情報は「やぶ星空フォトグランプリ」にのみ使用します。

📷 養父市内オススメ撮影スポット

1 八千高原

言わずと知れた養父市の自然のメッカです。宿も充実しているので夜通しの撮影もOK!

2 若杉高原おおやキャンプ場

24時間トイレ、駐車場が使用可能です。撮影者の方をいつでも歓迎します。

3 天文館バルーン八鹿

40cm反射望遠鏡や20cm屈折望遠鏡があります! 星の観望会などもあります。

星との出会いは
あなたを待っている

第1回 やぶ星空フォトグランプリ応募票

作品タイトル					
撮影場所・撮影年月日					
お名前	性別	男性・女性	年齢	才	TEL
ご住所				写真コメント (必須)	

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号	4
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月7日（金）	産業環境部 商工観光課	079-664-0285	課長 柳川 武 （主事 坂本 健介）	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ） 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒

せんさくら くらびらきしき

「仙 櫻」 蔵 開 式 お よ び 利 き 酒 会 の 一 般 参 加 者 募 集 に つ い て

養父市が誇る名酒「仙櫻」の蔵開きを広く周知するとともに、多くの日本酒ファンに祝って頂くことを目的に下記のとおり、蔵開き式を行います。

「純米吟醸酒：仙櫻」は養父市外では手に入らない幻の酒として、平成9年の発売以来、多くのお客様に愛され続け、大屋町はもとより養父市のPRの一翼を担ってきました。

この仙櫻（平成27年度産米醸造）は、今年5月31日に近代化産業遺産群の明延鉱山探検坑道内「明寿蔵」に蔵入れし、約半年間寝かせることで熟成させたものです。

なお、蔵開きしたばかりの「仙櫻」をご賞味いただくとともに、明延探検坑道を知ってもらう機会とするため、一般参加者向けに「利き酒会と坑道見学会」を開催いたします。

- 1 開催日 平成28年11月2日（水）午前10時30分から（受付10時から）
- 2 会 場 明延鉱山探検坑道「明寿蔵」（養父市大屋町明延1184）
- 3 内 容 蔵開きにあたり、式典を開催します。また、一般参加者向けに、坑道見学および販売前の仙櫻の利き酒会を開催します。
- 4 募集条件 ①20歳以上であること。
②「仙櫻」と明延探検坑道の魅力を口コミで発信していただける方。
③自動車でお越しの方は、必ずハンドルキーパーを同伴すること。

※ハンドルキーパーの方への特典

ハンドルキーパーの方には、販売前の「仙櫻」をお土産として小瓶に詰めてお持ち帰りいただけます。

当日利き酒ができなかったハンドルキーパーの方も家でゆっくりお楽しみいただけます。

- 5 募集人数 20名
- 6 募集期間 10月7日(金)から10月23日(日)午後5時まで必着。
※ただし先着順とします。
- 7 申込方法 電話又はファクシミリで下記連絡先まで申込ください。
- 8 申込先 やぶ市観光協会(やぶ市観光案内所)
平日・休日祝日(受付時間午前10時から午後6時まで)
TEL/079-663-1515 FAX/079-663-1501
- 9 添付資料 ①蔵開式 実施要項
②利き酒会 参加要項
③参考資料1(容量、度数、日本酒度ほか)
④参考資料2(過去の販売本数、販売開始日ほか)
⑤参考資料3(予定販売数等、市内販売店一覧)

【お問い合わせ】

養父市産業環境部商工観光課 坂本

電話 : 079-664-0285

FAX : 079-664-1758

平成 28 年度 純米吟醸酒「純米吟醸酒 仙櫻」蔵開式 実施要項

- 1 趣 旨 平成 9 年から町の特産物として親しまれている純米吟醸酒「仙櫻」の 27 年度産米のお酒が約半年間の熟成期間を終えたため、関係者により蔵開式を行う。
- 2 日 時 平成 2 8 年 1 1 月 2 日 (水)
式典 午前 10 時 30 分から (受付 : 午前 10 時から)
- 3 会 場 【式典】明延鉦山探検坑道「明寿蔵」
〒667-0436 養父市大屋町明延 1184
TEL 079-668-0258 (あけのべ自然学校)
- 4 内 容 (式典参加者スケジュール)
10 : 00 受付開始 (明延鉦山探検坑道出口付近)
10 : 30 式 典
○テープカット (明延鉦山探検坑道「明寿蔵」)
・市長、山陽盃酒造専務、養父警察署長、但馬県民局長 (予定)
○蔵開き (明寿蔵から市長が仙櫻を取り出し、壺阪専務へ手渡す。)
○市長あいさつ
○山陽盃酒造専務あいさつ (壺阪雄一氏)
○利き酒 (乾杯発声 : 栗田一夫氏)
11 : 15 式典終了
- 5 主 催 養父市・山陽盃酒造株式会社
- 6 共 催 やぶ市観光協会

《参 考》

「仙櫻」

- | | | | | | |
|--------------------------|----------------------|---------|---------|-------|---------|
| ① 予定販売数 | 本年 | 1,800ml | (本) | 720ml | (本) |
| | 昨年 | | (770 本) | | (830 本) |
| ②販売先 (販売店舗数) | 養父市内の酒販売店 (5 店) | | | | |
| ③栽培品種 | 兵庫北錦 | | | | |
| ④栽培方法 | 有機栽培 | | | | |
| ⑤栽培地 (面積) | 養父市大屋町宮垣 (約 56 アール) | | | | |
| ⑥清酒用仕込水 | 水ノ山清水自噴水 (養父市大屋町横行) | | | | |
| ⑦明延鉦山探検坑道「明寿蔵(めいじゅくら)」面積 | 約 7 0 m ² | | | | |
| ⑧製造者 | 山陽盃酒造株式会社 (宍粟市山崎町) | | | | |

「純米吟醸酒 仙櫻」利き酒会と坑道見学 実施要項（参加要項）

1 目的

「純米吟醸仙櫻」は、養父市外では手に入らない幻の酒として平成9年発売以来、多くのお客様に愛され続け、大屋町はもとより養父市PRの一翼を担ってきました。

この仙櫻（平成27年度産米醸造）を近代化産業遺産群の明延鉦山坑道内「明寿蔵」で約半年間寝かせ、この度、熟成を終えました。その熟成を終えた「仙櫻」の蔵開きを祝い蔵開式が開催されます。

この機会に、多くの仙櫻ファンみなさまに、熟成された「仙櫻」をご賞味いただくため、利き酒会と坑道見学会を実施します。

2 日時 平成28年11月2日（水）

受付時間 午前10時00分から

開催時間 午前10時30分から午後11時45分まで

3 場所 養父市大屋町明延 明延鉦山探検坑道内「明寿蔵」にて

住所 養父市大屋町明延1184

TEL 079-668-0258（あけのべ自然学校事務所）

4 内容

お酒を熟成させるための「明寿蔵」がある明延鉦山坑道探検を見学し、その坑道内で利き酒会を開催する。近代化産業遺産群の明延鉦山坑道を肌で感じながら、熟成後の「仙櫻」を利き酒できます。

なお、坑道内は平均温度13度程度のため、上着を準備してください。

5 参加費 無料

6 参加条件

① 20歳以上の成人の方。

② 「仙櫻」のファンの方、または利き酒会を機会にファンになりたいと考えている方。

③ 自動車に参加される方は、必ず運転者（ハンドルキーパー）と同伴が可能な方。

※運転者（ハンドルキーパー）の方には蔵入前の「仙櫻」の小瓶（非売品）をお土産として準備します。

7 募集人数

20名（運転者（ハンドルキーパー）を含む）

8 募集期間

10月7日（金）から10月23日（日）午6時まで必着。ただし、先着順とします。
参加者には前日までに日程等についてご連絡いたします。

9 申し込み方法

電話又はファクシミリで下記連絡先へ申込ください。

10 申し込み先及び問い合わせ先

〒667-0043 兵庫県養父市八鹿町高柳 241-1

やぶ市観光協会（やぶ市観光案内所）

TEL 079-663-1515 FAX 079-663-1501

午前10時00分から午後6時00分まで

11 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を厳守し主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。

12 その他

○養父市定額タクシーをご利用ください。

時間制の定額観光タクシーは、養父市内の移動にかかる費用や時間を有効に使っていただけます。

利用頂くと参加者全員で「仙櫻」の試飲ができます。ぜひご活用ください。

詳しくは、下記問い合わせ先（やぶ市観光協会）まで。

HP : <http://www.yabu-kankou.jp/carinfo>

《参考資料①》

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒「仙櫻」^{せんさくら}

兵庫県の最高峰、氷ノ山に抱かれた大自然のみどり豊かな町“養父市”。

自然の恩恵を受けた有機蛇紋岩米と氷ノ山のブナの原生林に長年育まれた清水の自噴水「ぶなのしずく」とを杜氏の伝統と技で造られた純米吟醸酒を明延鉱山坑道内「明寿蔵」で約半年間寝かせ、さらなる熟成をうながし深みのある味にしたお酒です。

品名	純米吟醸酒 「仙櫻」 ^{せんさくら}
容量	1,800ml (一升ビン)
	720ml (四合ビン)
度数	15～15.9度
日本酒度	+5.0 (昨年度 +3.0)
酸度	1.3 (昨年度 1.6)
原材料	兵庫北錦
精米歩合	60%
栽培方法	有機栽培
清酒用仕込水	氷ノ山清水自噴水「ぶなのしずく」 (養父市大屋町横行)
特徴	坑道熟成期間 約6ヶ月 (5月～10月) 坑道内・平均 12℃ 「明寿蔵」 ^{めいじゅくら} (70 m ²)
	有機・蛇紋岩米
製造者	山陽盃酒造株式会社 (宍粟市山崎町) 代表取締役 ^{つぼさか} 壺阪 ^{こういちろう} 興一郎 Tel 0790-62-1010
※式典の際に正式発表	1,800ml (3,700円税込み) 1,100本 (昨年920本)
	720ml (2,300円税込み) 1,300本 (昨年1,070本)

《参考資料②》

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒「^{せんさくら}仙櫻」

- 1 販売本数 式典にて発表
- 2 28年度販売開始日 平成28年11月2日(水)
- 3 「仙櫻」ができるまで
- ① 27年 5月 酒米(有機蛇紋岩米)田植え (養父市大屋町宮垣)
 - ② " 10月 稲刈り
 - ③ 28年 3月 仕込み水運搬(氷ノ山清水自噴水「ぶなのしずく」)
 - ④ " 3月~ 仕込み(宍粟市・山陽盃酒造(株):宍粟市山崎町)
 - ⑤ " 5月 蔵入れ(養父市大屋町明延「明寿蔵」)
 - ⑥ " 11月 蔵出し・販売開始

4 販売本数等実績一覧

年度	販売本数 (本)			蔵入	蔵出	水運搬	仕込水量 (1)
	1,800ml (一升ビン)	720ml (四合ビン)	計				
9	276	544	820	5/11	10/25		889
10	600	800	1,400	5/11	11/2		1,656
11	450	400	850	5/17	10/26		1,098
12	600	900	1,500	5/18	10/27	2/22	1,728
13	440	640	1,080	5/25	10/26	11/28	1,253
14	616	614	1,230	5/28	10/22	2/26	1,551
15	593	670	1,263	5/28	10/23	2/26	1,549
16	730	620	1,350	6/7	10/5	12/5	1,760
17	960	1,120	2,080	5/25	10/24	12/8	2,923
18	880	1,130	2,010	4/11	10/24	12/1	2,398
19	720	870	1,590	4/17	10/25	2/24	1,800
20	730	670	1,400	5/1	10/7	2/19	1,800
21	800	860	1,660	5/1	10/21	2/19	2,000
22	795	850	1,645	5/12	10/3	2/16	2,000
23	800	870	1,670	5/10	10/19	2/14	2,000
24	850	880	1,730	5/8	10/10	2/14	2,000
25	770	830	1,600	5/31	10/22	2/18	2,000
26	820	1030	1,850	5/22	10/8	3/2	2,000
27	920	1070	1,990	5/18	10/20	3/1	2,000
28				5/31	11/2	-	-

せんさくら
純米吟醸酒 「仙櫻」

蔵入式
蔵開式

平成 28 年 5 月 31 日 (火)
平成 28 年 11 月 2 日 (水)

■ 予定販売数等 ※式典にて正式発表

容 量	単 価	販売数
1,800ml	3,600 円 (税込み)	1,100 本
720ml	2,200 円 (税込み)	1,300 本

■ 市内販売店

	店 舗 名	住 所	TEL
1	小林酒店	大屋町明延 1294-2	668-0032
2	中庭酒店	大屋町大杉 287	669-0749
3	宮元酒店	大屋町樽見 433-1	669-0404
4	(株)おおや振興公社	大屋町加保 582	669-1822
5	道の駅ようか但馬蔵	八鹿町高柳 241-1	662-3200

養父市記者発表資料（資料配付）

資料番号

5

発表日	担当部課	電話	発表者職氏名
10月7日（金）	人権・協働課 建屋校区自治協議会	079-662-7601 079-666-0272	人権・協働課長 橋本 義弘 (建屋校区自治協 中山 正)
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット 月 日（ ） 時 ※記載がない場合は、発表時を持って報道解禁とします。			

須留ヶ峰登山大会について

但馬の名峰、須留ヶ峰（標高1,054m）に登る紅葉登山大会を開催します。

- 1 主 催 建屋校区自治協議会
- 2 と き 平成28年11月3日（木）
- 3 対象者 だれでも参加できますが、足腰に自信がある方向きです。
※小学生以下は保護者同伴
- 4 参加料 一人200円
- 5 集合・受付 養父市餅耕地139番地『産霊(うぶたま)神社』 午前8時～
- 6 行程 神社出発——午前9時
須留ヶ峰山頂—正午（山頂で昼食）
下山開始——午後1時
神社到着——午後3時(お汁、コーヒーの接待)
- 7 中 止 雨天等で中止の場合、自治協管内の参加者には防災行政告知システム
でお知らせします。それ以外の方は、午前7時以降に建屋校区自治協
議会までお問い合わせください。
- 8 申込み・問合せ 建屋校区自治協議会（養父市建屋209番地）
電話・FAX 079-666-0272

※登山案内のチラシを用意しています。



豊かな自然と秋の紅葉を満喫！！～

須留ヶ峰紅葉登山大会

但馬の名峰、須留ヶ峰(標高1,054m)に登りませんか！！
ご家族、お友達など、お誘いあって参加して下さい！

期 日：11月3日(木)文化の日

受 付：養父市餅耕地『産霊(うぶたま)神社』午前8時15分

日 程：神社出発(9:00) → 須留ヶ峰山頂(12:00) お弁当
休憩/下山(13:00) → 神社到着(15:00)・解散

参加料：一人200円(保険代含む)

参加対象：だれでも参加できますが足腰に自信のある人向きです。

小学生以下は保護者同伴とします。

持ち物：お弁当、水筒、おやつ等

服 装：登山にふさわしい服装(くつ、リュックサック、雨具)

申 込：建屋校区自治協議会 ☎666-0272 までお願いします。

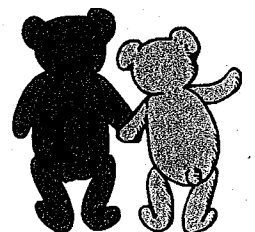
免責範囲：参加される方は、万全の健康管理をお願いします。主催者側で傷害保険に加入しますが万一、事故が発生した場合、主催者側は、加入する傷害保険の範囲内及び応急処置以外の責任は負いませんのでご了承願います。

その他：雨天中止の場合のみ、当日朝7:00ころに、CATV告知放送で中止連絡をいたします。



☆主催/建屋校区自治協議会

☆後援/養父市立養父公民館



養父市記者発表資料（資料配布）

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号	6
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月7日（金）	危機管理室 情報課	662-2899	情報課長 米田昌之 （情報課 森下広二）	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

養父のネッテイ相撲について

ネッテイ相撲の概要

ねっていずもうは、養父市奥米地の水谷神社に伝わる伝統行事です。

相撲といっても勝敗を競うものではなく、袴の裾をたくし上げ、上半身が裸の2人の力士が、「ヨイヨイヨイ」の掛け声に合わせて足踏みし、拳を突き出し、肩を組み、左右に飛び交います。

土地の悪霊を鎮め、収穫を感謝する相撲神事で、平安時代に宮中で行なわれた相撲節会（すまひのせちえ）の流れをくむ「現代の相撲の原型」といわれています。

兵庫県指定無形民俗文化財、国選択無形民俗文化財に指定されています。

日 時

平成28年10月10日（月）午後1時30分～

※午後1時から神事を行い、その後、ねっていずもうを行います。

会 場

水谷神社（養父市奥米地235付近）

問い合わせ

水谷神社ねっていずもう保存会代表 足立泰輔氏

（携帯電話080-1523-5378）

（固定電話079-665-0505）

養父市記者発表資料（資料配布）

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号	7
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月7日（金）	情報課	662-2899	情報課長 米田昌之 （情報課 森下広二）	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

八鹿町九鹿ざんざか踊りについて

八鹿町九鹿ざんざか踊りの概要

九鹿ざんざか踊りは、疫病退散、五穀豊穰を祈願して毎年、日枝神社に奉納される太鼓踊りの一種です。踊りの所作、歌詞、服装などが室町時代の色が濃く残っていることから、但馬に伝わる5か所のざんざか踊りの中でも最も古いといわれています。

九鹿ざんざか踊りには、大人踊りと子供踊りがあります。子供踊りがあるのは但馬に伝わるざんざか踊りの中でも九鹿だけの特徴であり、華となっています。

子供踊りは、村の4人の小学生が天の子と台の子に分かれ組体操のようなアクロバティックな演技を太鼓に合わせて披露します。

大人踊りは、袴姿の唄い手による踊り唄と陣笠とかぶり軍配扇を持ったリーダーと呼ばれるうちわ2人の「ザンザカ・ザカザカ・ザンザカザットウー」の掛け声に合わせて、紺の筒袖と股引姿の踊り手が、腰太鼓で勇壮に拍子を叩きながら踊りを披露します。踊りは、うちわ（リーダー）2人と短冊を花輪にした大幣（おおしで）を背負った太鼓2人で中踊りを構成し、側踊りとして豆絞りの手ぬぐいでむこう鉢巻きをした太鼓4人が踊ります。

九鹿ざんざか踊りは、兵庫県指定無形民俗文化財に指定されています。

日 時

【宵宮】平成28年10月15日（土）午後7時～

【本宮】平成28年10月16日（日）午後2時～

※午後1時30分に九鹿公民館を出発、辻ごとに「はやし込み」と呼ばれる踊りを披露しながら日枝神社に向かいます。

会 場

九鹿日枝神社（養父市八鹿町九鹿380付近）

問い合わせ

九鹿ざんざか踊保存会 代表（九鹿区区長） 廣瀬富美夫 （携帯電話）090-8793-7230

養父市 記者発表資料（資料配布）

資料番号

8

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月7日（金）	養父地域局 養父公民館グループ	079-664-1141 内線 103	館長 守本 隆之 （主幹 松田 渉）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第51回やぶ文化祭の開催について

1 目 的

日頃、生涯学習に努めている市民の皆さんにその成果を発表する機会を提供し、学習意欲の一層の喚起と学習者同士の相互交流を図るとともに、作品（作者）と鑑賞者（住民）との出会いから、住民の方々同志のより広く更に深いつながりが生まれることを目的として文化祭を開催する。

2 内 容

- 1) テーマ：出会い・つながり
- 2) テーマ展示：養父地域自治協議会作品展
- 3) 展示作品：市民作品展、文化協会作品展、公民館教室作品展
- 4) バザー：5団体出店
- 5) 芸能祭：15団体出演

3 開催日時

- 10月21日（金）午前9時～午後9時
10月22日（土）午前9時～午後9時（芸能祭は、22日午後6時30分から）
10月23日（日）午前9時～午後4時

4 会 場

養父市養父公民館（養父市広谷250番地）

5 主 催

養父市、養父市教育委員会、第51回やぶ文化祭実行委員会

6 お問い合わせ先

養父市立養父公民館
〒667-0101 養父市広谷250番地（TEL 079-664-1141 FAX 079-664-1363）

イベントカレンダー

先月へ	2016年10月		翌月へ	
	1日 (土)	木彫フォークアート受賞式	16日 (日)	九鹿ざんざか踊り
	2日 (日)	一円電車まつり	17日 (月)	
	3日 (月)		18日 (火)	
	4日 (火)		19日 (水)	
	5日 (水)		20日 (木)	
	6日 (木)	*	21日 (金)	赤米献上隊出発 (八鹿小6年) 第51回やぶ文化祭 (~23日)
	7日 (金)	定例記者会見	22日 (土)	
	8日 (土)		23日 (日)	養父市長・市議会議員選挙、投開票日 氷ノ山紅葉登山大会
	9日 (日)		24日 (月)	
	10日 (月)	体育の日 ネットイ相撲 (奥米地) やぶらぶマラソン	25日 (火)	定例記者会見
	11日 (火)		26日 (水)	
	12日 (水)		27日 (木)	
	13日 (木)		28日 (金)	大屋文化祭 (~30日)
	14日 (金)		29日 (土)	中西圭三ライブ
	15日 (土)	食文化まつり (~16日)	30日 (日)	三輪車耐久レース 中西圭三ライブ
			31日 (月)	

先月へ	2016年11月		翌月へ	
	1日 (火)		16日 (水)	
	2日 (水)	仙機蔵開き式	17日 (木)	
	3日 (木)	文化の日 須留ヶ峰登山大会 天滝もみじ祭り	18日 (金)	人権フェスティバル
	4日 (金)		19日 (土)	
	5日 (土)	養父神社やぶもみじ祭り (~23日)	20日 (日)	高中新そばまつり
	6日 (日)	市長杯ドッジボール大会	21日 (月)	
	7日 (月)		22日 (火)	養父市民のつどい
	8日 (火)		23日 (水)	勤労感謝の日
	9日 (水)		24日 (木)	
	10日 (木)	定例記者会見	25日 (金)	定例記者会見
	11日 (金)		26日 (土)	やぶ医者大賞受賞式
	12日 (土)	但馬まるごと感動市 (~13日)	27日 (日)	八木城秋の城上がり
	13日 (日)	ひょうご合唱祭典	28日 (月)	
	14日 (月)		29日 (火)	
	15日 (火)	戦没者追悼式	30日 (水)	